

11月18日(日) 第3日目 A会場

8:00~9:00 モーニングセミナー

モーニングセミナー5 アレルギー性皮膚疾患のスペシャリストに学ぶ。 化粧品の活かし方。

座長：加藤 則人（京都府立医科大学）

MS5-1 アトピー性皮膚炎 – 治療のために行うべきこと –

益田 浩司（京都府立医科大学）

MS5-2 化粧品によって起こり、治らない疾患は、化粧品を直せば治癒する。（抗原除去治療）

中山 秀夫（目黒陳皮膚科クリニック 東京都品川区）

共催：アクセーヌ株式会社

9:10~10:40 シンポジウム

（皮膚科領域講習対象講演）

シンポジウム3 自然免疫・皮膚バリアの最前線

座長：古川 福実（高槻赤十字病院）

相場 節也（東北大学）

S3-1 自己炎症症候群をめぐる最新の話

金澤 伸雄（和歌山県立医科大学）

S3-2 皮膚抗菌ペプチドの世界

山崎 研志（東北大学）

S3-3 膿疱性乾癬と急性汎発性発疹性膿疱症の接点

杉浦 一充（藤田医科大学）

S3-4 表皮・脂腺のバリア機構と炎症

久保 亮治（慶應義塾大学）

10:50~11:50 特別講演

（皮膚科領域講習対象講演）

特別講演3

座長：塩原 哲夫（杏林大学 名誉教授）

SL3 Aging of Immunity and Immunity in Aging

湊 長博（京都大学 プロボスト 理事・副学長）

12:00~13:00 ランチョンセミナー

LS5 ランチョンセミナー5

座長：小豆澤 宏明（奈良県立医科大学）

LS5 Histamine: its role in pleasure and suffering

Rossen Boev (Global Medical Director Allergy, UCB Biopharma,
Switzerland)

共催：グラクソ・スミスクライン株式会社

13:10~14:10 研究倫理に則った学会発表の仕方（専門医共通講習〈医療倫理〉対象講演）

研究倫理に則った学会発表の仕方

座長：佐山 浩二（愛媛大学）

1 研究に関する法と指針について

古田 淳一（筑波大学医学医療系 医療情報マネジメント学）

2 個人情報に配慮した学会発表の仕方

山崎 研志（東北大学）

11月18日(日) 第3日目 B会場

9:10~10:40 スポンサーディングシンポジウム

スポンサーディングシンポジウム アレルギー最前線 ~蕁麻疹から食物アレルギーまで~

座長：秀 道広 (広島大学)

横関 博雄 (東京医科歯科大学)

SSY-1 最新の蕁麻疹ガイドラインと医療連携

福永 淳 (神戸大学)

SSY-2 難治性蕁麻疹~オマリズマブの保険適用から見えてきたこと~

千貫 祐子 (島根大学)

SSY-3 アレルギー性蕁麻疹を見逃さない診療術

猪又 直子 (横浜市立大学)

SSY-4 小児の食物アレルギーについて

南部 光彦 (なんぶ小児科アレルギー科 奈良市)

共催：ノバルティス ファーマ株式会社

13:10~14:10 一般演題

食物アレルギー 2

座長：足立 厚子 (兵庫県立加古川医療センター)

原田 晋 (はらだ皮膚科クリニック)

O-099 即時型アレルギー抗原としての新規魚アレルギー Myosin heavy chain

柴田 夕夏 (高知大学) ほか

O-100 経皮感作の機序が疑われた、かまぼこ屋の兄弟に生じた魚アレルギー

生越 まち子 (おごし皮膚科 茨木市) ほか

O-101 当科で診療した魚アレルギー症例の検討

P-048

矢上 晶子 (藤田医科大学ばんだね病院 総合アレルギー科) ほか

O-102 食物経口負荷試験で診断しえたハマチアレルギーの1例

P-049

青山 礼華 (大阪大学) ほか

O-103 トロポミオシン感作がエビアレルギーの発症に繋がるか

P-050

佐藤 奈由 (藤田医科大学ばんだね病院 アレルギー疾患対策医療学) ほか

O-104 臨床研究システム MINERVA を用いたエビアレルギーの抗原解析

P-051

中村 政志 (藤田医科大学 アレルギー疾患対策医療学) ほか

14:20~15:20 一般演題

食物アレルギー 3

座長：波多野 豊 (大分大学)

馬場 直子 (神奈川県立こども医療センター)

- O-105 遅発性の機序で発症したと考えたアニサキスアレルギーによるアナフィラ
P-052 キシーの3症例
原田 晋 (はらだ皮膚科クリニック 西宮市) ほか
- O-106 血液型B型患者に生じた獣肉アレルギーの1例
P-053 原田 朋佳 (三田市民病院) ほか
- O-107 α -gal 感作による牛肉アレルギーと考えられた一例
木村 七絵 (九州大学) ほか
- O-108 Pork-cat syndrome の1例
藤本 雷 (大阪はびきの医療センター) ほか
- O-109 小児期発症の果物アレルギーの検討
高橋 沙希 (横浜市立大学) ほか
- O-110 食物アレルギーに対するプリックテストの有用性の検討
大下 彰史 (京都府立医科大学) ほか

15:20~15:30

次期会長挨拶

11月18日(日) 第3日目 C会場

8:00~9:00 モーニングセミナー

モーニングセミナー6 「PDE4阻害剤アプレミラストを実臨床から考える」 ～見えてきた特徴と工夫点～

座長：五十嵐 敦之（NTT 東日本関東病院）

MS6-1 当科におけるアプレミラストの使用経験～44例の集計とその後の継続率

岸本 恵美（自治医科大学）

MS6-2 乾癬に対してのアプレミラストの併用による効果増強と関節炎に対する効果

森田 明理（名古屋市立大学）

共催：セルジーン株式会社

9:10~9:40 基調講演

基調講演2

座長：石川 治（群馬大学）

KL2 血管炎診断のコツ

川上 民裕（東北医科薬科大学）

9:40~10:40 一般演題

血管炎

座長：石黒 直子（東京女子医科大学）

陳 科榮（目黒陳皮膚科クリニック）

O-111 高齢者に発症した皮膚型結節性多発動脈炎の1例

入江 絹子（福島県立医科大学）ほか

O-112 B型肝炎ウイルス既感染患者に生じた皮膚型結節性多発動脈炎の1例

森 龍彦（福島県立医科大学）ほか

O-113 蕁麻疹様血管炎12例の臨床的検討

新井 達（聖路加国際病院）ほか

O-114 白血球破碎性血管炎を合併したシェーグレン症候群の1例

大澤 梨佐（高知大学）ほか

O-115 間質性肺炎が先行し、肺泡出血による呼吸不全と急性腎障害を合併した重症型顕微鏡的多発血管炎の1例

野元 裕輔（鹿児島大学）ほか

O-116 皮膚型結節性多発動脈炎増悪期にIgA血管炎様症状を合併した1例

P-087 木戸 一成（高知大学）ほか

12:00~13:00 ランチョンセミナー

ランチョンセミナー6 止痒戦略の—基礎と臨床—

座長：加藤 則人（京都府立医科大学）

川田 暁（近畿大学）

LS6-1 アトピー性皮膚炎の病態と治療—皮膚バリア治療戦略を中心に—

佐伯 秀久（日本医科大学）

LS6-2 蕁麻疹におけるアレルギーと神経ペプチドの不思議な関係

秀 道広（広島大学）

共催：日本臓器製薬株式会社

13:10~14:10 一般演題

膠原病3

座長：谷川 瑛子（慶應義塾大学）

小寺 雅也（中京病院）

O-117 後爪郭部毛細血管のダーモスコピー所見の異常により発見された全身性強皮症の1例

中内 恵美（宝塚市立病院）ほか

O-118 P-016 全身性強皮症の治療経過中に心嚢水貯留を契機としてSLEとのオーバーラップ症候群と診断された1例

大石 京介（金沢大学）ほか

O-119 全身性強皮症に伴う間質性肺炎の治療中に発症したシクロフォスファミド心筋症の1例

高岡 真梨子（東京大学）ほか

O-120 特異な皮膚硬化病変を伴った全身性強皮症の2例

石月翔一郎（筑波大学）ほか

O-121 インフルエンザワクチン接種部に生じたモルフェアの1例

岸部 麻里（旭川医科大学）ほか

O-122 ハーレクイン症候群に合併した進行性顔面片側萎縮症（Parry-Romberg症候群）の1例

西原 春奈（名古屋市立大学）ほか

14:20~15:20 一般演題

膠原病 4

座長：井川 健（獨協医科大学）
室 慶直（名古屋大学）

- 123 間質性肺炎合併全身性強皮症の経過中に肺高血圧症を合併した一例
市來 尚久（JCHO 中京病院）ほか
- 124 ANCA 関連血管炎を合併した全身性強皮症の1例
辻 礼子（関西医科大学）ほか
- 125 ステロイド内服とメトトレキサートの併用療法で改善を認めた小児限局性強皮症の3例
秋田 亜紗美（横浜市立大学）ほか
- 126 骨髄炎を合併した限局性強皮症の1例
千原 真未（東京慈恵会医科大学）ほか
- 127 両側手根管症候群を併発した右上肢限局性強皮症の1例
加納 宏行（岐阜大学）ほか
- 128 メトトレキサートが有効であった好酸球性筋膜炎の1例
堀口 亜有未（琉球大学）ほか

11月18日(日) 第3日目 D会場

8:00~9:00 モーニングセミナー

モーニングセミナー7

座長：秀 道広 (広島大学)

MS7 活用しよう！新しい蕁麻疹診療ガイドライン

千貫 祐子 (島根大学)

共催：科研製薬株式会社

9:10~10:40 一般演題

薬疹4

座長：鈴木 民夫 (山形大学)

松倉 節子 (済生会横浜市南部病院)

O-129 パッチテストからシアナマイド[®]による中毒性表皮壊死症 (TEN) と推測した1例

張田 修平 (昭和大学) ほか

O-130 メトトレキサートによる中毒性表皮壊死症の2例

鳥越利加子 (赤穂中央病院)

O-131 消化管症状を呈した中毒性表皮壊死症 (TEN) の1例

齊藤 亨 (山形大学) ほか

O-132 バクタ[®]配合錠による Stevens-Johnson 症候群の1例

新屋 光一郎 (昭和大学) ほか

O-133 再発を繰り返した水痘・帯状疱疹ウイルスによる Stevens-Johnson 症候群の1例

富樫 結 (横浜市立大学) ほか

O-134 Stevens-Johnson 症候群, 中毒性表皮壊死症, 多型紅斑における, 血清 P-032 RIP3の重症度予測マーカーとしての有用性の検討

長谷川 瑛人 (新潟大学) ほか

O-135 長期間のテルミサルタン内服が原因と考えられる著明な皮膚壊死を伴った多形滲出性紅斑型薬疹の1例

藤井 瑞恵 (旭川医科大学) ほか

O-136 メシル酸ガレノキサシン水和物 (ジェニナック) による固定薬疹の一例

石井 芙美 (岡山大学) ほか

O-137 P-033 メトホルミンの添加物クロスポビドンによる固定薬疹の一例

西山 千尋 (大阪回生病院) ほか

12:00~13:00 ランチョンセミナー

ランチョンセミナー7 アトピー性皮膚炎のマネジメント：メンタルヘルスの諸問題

座長：相原 道子（横浜市立大学）

LS7-1 アトピー性皮膚炎患者が抱える疾病負荷：メンタルヘルスを中心に

中原 剛士（九州大学）

LS7-2 皮膚炎患者にみられる抑うつへの対応 ―スキンケア行動への支援―

境 玲子（三木メンタルクリニック 横浜市）

共催：サノフィ株式会社

13:10~14:10 一般演題

薬疹5

座長：堀川 達弥（うえだ皮膚科クリニック）

水川 良子（杏林大学）

O-138 塩酸テルピナフィンによる薬剤誘発性の膿疱性乾癬の再燃と考えられた症
P-035 例

高田 洋子（日本生命病院）ほか

O-139 ロチゴチンパッチ貼付により生じた脱色素斑の1例

武内 敦子（京都大学）ほか

O-140 イコデキストリンによる膿疱型薬疹の1例

瀧浪 紗也子（東京慈恵会医科大学）ほか

O-141 重症薬疹の治療経過における末梢血・皮膚浸潤樹状細胞の動態解析

高村 直子（横浜市立大学）ほか

O-142 産後に汎発性膿疱性乾癬を発症し、インフリキシマブによる寛解後に関節痛と抗dsDNA-IgM抗体の上昇を呈した2例

八木田 隼啓（兵庫県立加古川医療センター）ほか

O-143 ランサップに含まれるランソプラゾールによる多形紅斑型薬疹の1例

竹内 千尋（三田市民病院）ほか

14:10~15:20 一般演題

薬疹・研究

座長：高橋 勇人（慶應義塾大学）

青山 裕美（川崎医科大学）

- O-144 医薬品副作用被害救済制度において請求された重症薬疹の事例分析
P-091 平澤 美和子（医薬品医療機器総合機構 健康被害救済部）ほか
- O-145 当科で過去9年間に診療を行った多形滲出性紅斑の検討
P-092 長野 翠（京都府立医科大学）ほか
- O-146 カスパーゼ1/11が、IL-33の分泌を制御してIL-33誘導性アトピー性皮膚炎
P-093 の増悪に関与するかもしれない
草壁 みのり（兵庫医科大学）ほか
- O-147 IgE依存性痒疹モデルにおける亜鉛補充療法の検討
飯島 葉月（東京医科歯科大学）ほか
- O-148 シンナムアルデヒドによるNRF2活性化を介した線維化制御機構の解明
—強皮症治療への可能性—
三田村 康貴（九州大学）ほか
- O-149 好中球性皮膚疾患の病勢マーカーとしてのmicroRNAの検索
P-094 東 裕子（鹿児島大学）ほか
- O-150 円形脱毛症における抹消血 $\gamma\delta$ T細胞の解析
P-096 内田 洋平（鹿児島大学）ほか

11月18日(日) 第3日目 E会場

8:00~9:00 モーニングセミナー

モーニングセミナー 8

座長：佐野 栄紀（高知大学）

MS8-1 基礎からわかる，乾癬治療の薬剤選択

今井 康友（兵庫医科大学）

MS8-2 乾癬の併存疾患～炎症性腸疾患のサイトカイン反応～

渡邊 智裕（近畿大学 消化器内科）

共催：アッヴィ合同会社 / エーザイ株式会社

9:10~10:10 一般演題

接触皮膚炎 4

座長：片桐 一元（獨協医科大学埼玉医療センター）

鈴木 加余子（藤田医科大学ばんだね病院 総合アレルギー科）

O-151 ジャパニーズスタンダードアレルゲン（JSA）2015の2017年度陽性率

伊藤 明子（ながたクリニック 新潟市）ほか

O-152 金チオ硫酸ナトリウムのパッチテスト反応に関する詳細調査

P-082

鈴木 加余子（藤田医科大学ばんだね病院 総合アレルギー科）ほか

O-153 金チオ硫酸ナトリウムの遅発型反応—出現翌日の病理組織学的・免疫組織学的所見—

岩橋 ゆりこ（昭和大学藤が丘病院）ほか

O-154 チタンアレルギーに関する実態調査

P-083

細木 真紀（徳島大学 顎機能咬合再建学）ほか

O-155 メガネの先セルによるアレルギー性接触皮膚炎—フレームの芯に用いられていた金属の腐食により生じたニッケルアレルギーの1例—

P-084

飯島 茂子（はなみずきクリニック 牛久市）ほか

O-156 留置針外套カテーテルによる接触皮膚炎があり，母乳パッドでフレアアップを生じた1例

岡林 綾（大阪府済生会富田林病院）ほか

10:20~11:50 シンポジウム

(皮膚科領域講習対象講演)

シンポジウム4 接触皮膚炎の最前線

座長：松永 佳世子（藤田医科大学 アレルギー疾患対策医療学講座）

関東 裕美（東邦大学医療センター大森病院）

S4-1 接触皮膚炎病態理解 up date

本田 哲也（京都大学）

S4-2 職業性接触皮膚炎

矢上 晶子（藤田医科大学ばんだね病院 総合アレルギー科）

S4-3 化粧品による接触皮膚炎～最近の話題～

伊藤 明子（ながたクリニック 新潟市）

S4-4 かぶれと栄養障害

川村 龍吉（山梨大学）

12:00~13:00 ランチョンセミナー

ランチョンセミナー8 パッチテストを活かす！～もしかして？と思うカ～

座長：宮地 良樹（京都大学 名誉教授）

LS8-1 パッチテストの進歩と工夫

上津 直子（上津クリニック 東大阪市）

LS8-2 パッチテストのすすめと最新情報

松永 佳世子（藤田医科大学 アレルギー疾患対策医療学講座）

共催：佐藤製薬株式会社

11月18日(日) 第3日目 ハンズオン会場

13:10~15:10 ハンズオンセミナー

パッチテストハンズオンセミナー

ディレクター: 関東 裕美 (東邦大学医療センター大森病院)

タスクフォース: 鈴木 加余子 (藤田医科大学ばんだね病院 総合アレルギー科)

中田 土起丈 (昭和大学藤が丘病院)

鷺崎 久美子 (大森町皮ふ科 東京都大田区)

峠岡 理沙 (京都府立医科大学)

伊藤 崇 (東邦大学医療センター大森病院)

共催: 佐藤製薬株式会社 / 鳥居薬品株式会社 / 株式会社スマートプラクティスジャパン